学校訪問だより【5】 塩尻市立片丘小学校

子どもの笑顔があふれる中庭夏祭り

令和7年9月11日
中信教育事務所
文責：鳥居正人

８月２１日（木）に、塩尻市立片丘小学校の「つながろう片丘 中庭夏祭り」を参観させていただきました。つながろう片丘実行委員会（保護者・地域の方・学校運営協議会）が企画し、全校児童１８８名のうち１０８名が参加するほど、児童にとって大変楽しみな中庭夏祭りでした。その様子を紹介させていただきます。（※８月２１日は夏休み中、実施時間は９：００～１２：００）

飯盒炊さんの様子

地域の方の子どもたちへの願い！
地域の方の「飯盒炊さんを経験させたい」「飯盒でご飯を炊く経験をさせたい」「米のとぎ方、マッチで火をつける、火加減の調整などを経験させたい」という願いがあります。

飯盒炊さんの中で見つけた感動！
★火がつけられた感動、火が大きくなる感動
★なかなか火がつかないかまどで、地域の人がゆっくり優しく息を吹きながら火を大きくしていく姿に感動
★飯盒を開けた時の感動（ご飯が炊けている）
★地域の方から飯盒炊さんを学ぶ感動

水遊びの様子

公民館担当者の企画とコラボ！
公民館に親しみをもってほしいという公民館担当者の願いから企画した水遊び。子どもたちは持参した水鉄砲で友達を狙い撃ち。
子どもも大人もお互いに水をかけ合い、おもいっきり楽しみました。素敵な笑顔が全開です。

カレーを食べている様子

※お米や玉ねぎは地域の方からの寄付です。

チョ～ウマいカレーに感動！
ボランティアさんがカレーを作りました。じゃがいも、にんじん、なす、とうもろこしなどの具材は子どもたちが学校で育てた野菜です。
（夏休み中で収穫できずに傷んでしまう野菜の食品ロスにも役立っています）
カレーを食べた子どもから「カレーチョ～ウマい！こんなウマいカレーはじめて！」と声が上がり、この一言が全てを物語っています。

参加した保護者・地域の方の声

・学校に来る機会がない
・学校のこと、子どものことを知りたい
・片丘の子どもが大好き
・コロナ禍の時に様々な制限があり、できないことが多く、親も寂しかった
・何かあれば協力したい
・学校から声をかけてほしい、声をかけてくれれば嬉しい、積極的に関わる
・公民館に親しみ、大人になっても公民館に関わってほしい

つながろう片丘実行委員会が企画した中庭夏祭り。「子どもたちが喜ぶことをしたい」「子どもたちと一緒に楽しいことをしたい」「子どもたちの心に残る素敵な夏祭りにしたい」そんな願いが伝わってくる夏祭りでした。夏祭りを通して、大人が子どもと一緒に楽しみ、感動し、学ぶ。さらに、夏祭りに向けて一緒に企画を考えたり活動したりすることで大人同士のつながりが強くなっていく、深まっていく。

「つながろう片丘」をキーワードに、子どもたちへの願いや熱い思いを地域と学校が共有し、連携することが、子どものより良い成長や豊かな学びとなり、そして地域全体で片丘の子どもを育んでいくことにつながっていくと感じました。

このような経験が、子どもたちの心に響くとともに、地域愛を育み、深まっていくのではないかと思います。